

## 研究テーマ ● 発達障害が疑われる児童養護施設入所児への支援モデルの検討

臨床心理学研究科・臨床心理学専攻

准教授 小澤 永治

<http://kuris.cc.kagoshima-u.ac.jp/215277.html>

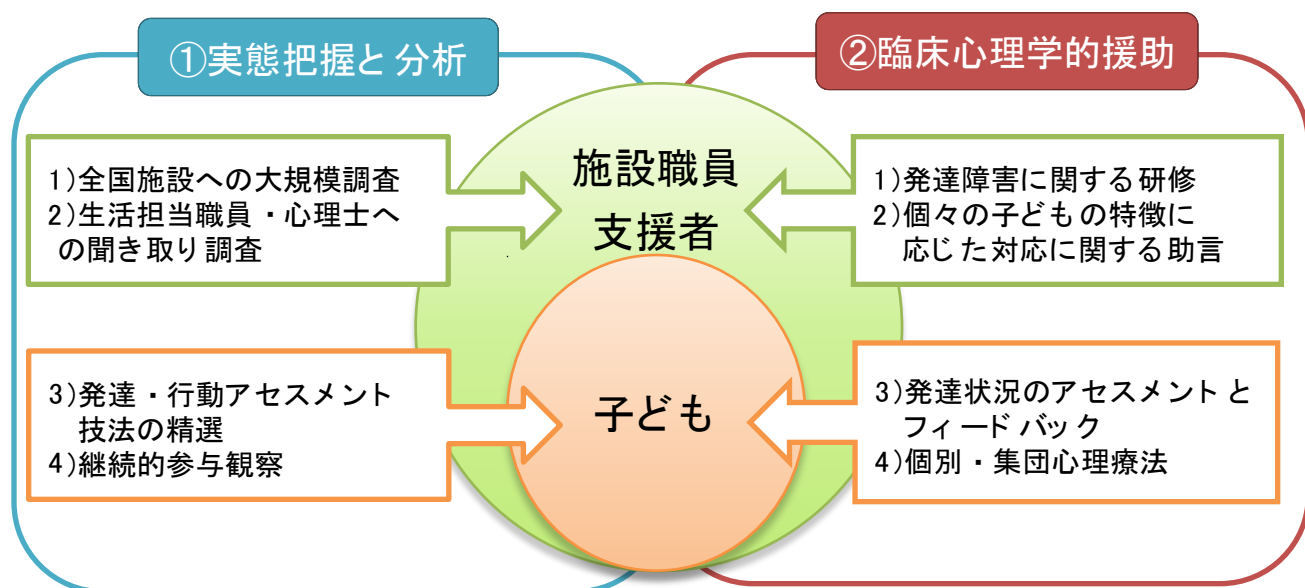
## 研究の背景および目的

児童養護施設は、さまざまな理由から家庭で生活ができない子どもたちが育つ場です。近年の児童虐待の増加に伴い、児童養護施設で生活する子どもたちも増えていて、全国で3万人近くになっていますが、その中に「発達障害」を抱えた子どもたちも多く存在することが指摘され始めました。

学校や医療機関では「発達障害」についての介入が進んでいますが、児童養護施設に入所する発達障害が疑われる児童のケアは立ち後れた分野であり、早急な理解と対応が求められています。

## ■ おもな研究内容

①発達障害に関する実態把握のための調査・分析と、②実際の児童養護施設での臨床心理学的援助実践を平行して行うことで、現場で即時的に役立つ支援モデルの検討を行っています。



## 期待される効果・応用分野

現在児童養護施設の中で起こっている暴力や非行、不登校や性化行動といった困難な状況に対して、個別の子ども発達の理解と言う視点から新たな援助のあり方を見出すことを目指しています。また、入所児童の発達を継続的に追うことで、発達障害と児童虐待による愛着障害との関係性などといった、発達心理学上重要なトピックに焦点を当てることができます。児童養護施設に限らず様々な領域で、子どもの発達援助・臨床心理学的援助に活用できる視点が得られると考えています。

## ■ 共同研究・特許などアピールポイント

- これまで児童養護施設において、発達障害に限らず多様な子どもたちへの援助を行ってきました。
- 子どもの心理社会的な発達や、発達障害に関する研修・コンサルテーションに応じています。
- 発達障害等に関する困難に直面する児童福祉施設と職員の方を対象に、調査協力を募集しています。

## 🗨️ コーディネーターから一言

発達障害の視点から児童養護施設での問題への支援モデルを研究。職員研修や相談等へ対応できます。臨床心理学研究科としての地域支援も進行中。学校やPTA、地域での講演などに協力しています。お問合せください。

研究分野	臨床心理学, 社会福祉学, 児童福祉, 発達心理学, 発達障害
キーワード	児童養護施設, 社会的養護, 児童虐待, 愛着, 自閉症スペクトラム障害, 広汎性発達障害, アスペルガー症候群, ADHD, LD